

にし西

■編集

西区役所総務企画課広聴係 〒063-8612 西区琴似2条7丁目1-1
TEL 641-2400 内線224~227 FAX 641-2405

◎西区広報番組「西区情報プラザ」FMラジオ三角山放送局76.2MHz
毎週月曜日午前11時～

◎西区ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/nishi/>

◎区民のページ 2006・9



まちの人



(財)札幌市体育協会
札幌市スポーツ少年団
西区本部事務局長

こばやし しんいち
小林 眞一さん(68)

○スポーツ少年団とは

子どもたちが自主的に参加し、地域社会でスポーツを中心としたグループ活動を行う団体。登録種目は野球、サッカーなど17種目。平成17年度は全市で379団体8,553人、西区では38団体915人が登録。

詳しくはスポーツ少年団事務局TEL511-7787。
ホームページ<http://sattaikyo.com/>



■少年野球の審判をしている様子(写真中央)

発寒在住の小林さんは、札幌市スポーツ少年団の役員として広報活動や、瀋陽市の少年団との交流活動、全国スポーツ少年団軟式野球交流大会の運営や試合の審判など、少年団活動を陰で支えています。「今年度は少年団の創立四十周年という節目の年で大忙しですが、とても楽しく活動しています」と笑って答えます。現在は合気武道など、違う分野のスポーツにも取り組んでいます。そんな小林さんが本格的にスポーツを始めたのは、高校を卒業後、運動用品の卸問屋に就職したとき。当時は草野球が盛んで、新入社員は

スポーツにより成長する姿が励みです

全員野球部に入部することになっていました。それから独学で知識や技術を身に付けていったそうです。

少年野球にかかわるようになったのは三十四歳のとき、町内会の子どもたちに野球を教えるようになってから。子どもたちに教えているうちに、自分のチームを持ちたくなり、昭和五十一年、三十九歳のときに少年野球チームを結成し、同時に札幌市スポーツ少年団に加盟しました。今年でチーム結成三十周年。今も責任者としてチームを引っ張っている小林さんの指導方針は「あいさつをしつかりする」「道具を大事に使う」「基本を大切にする」の三つ。野球を通じて日常生活のルールを教えています。

また、五十歳から始めた合気武道は二段の腕前。「歴史小説が好きで、読んでいて何となくやりたくなった」と軽い気持ちで始めましたが、今では西区体育館で子どもたちに指導しています。

「スポーツを通して子どもたちの成長を見られるのがうれしい」と話す小林さん。これからも優しいまなざしで子どもたちを見守ります。

区民のページで取り上げてほしいテーマなど、皆さんからのご希望やご意見をお寄せください。はがきファクスEメール nishi@city.sapporo.jp 西区総務企画課広聴係(上欄)へ。